

平成 25 年度事業計画

平成 25 年度は、公益財団法人への移行の 1 年目として、国際花と緑の博覧会の「自然と人間との共生」という理念のより一層の継承、発展を図るため、「コスモス国際賞」を中心とした顕彰事業の実施のほか、助成・協働事業や「フォーラム」等の普及啓発事業及び国際交流事業等を実施する。

1. 顕彰事業

(1) コスモス国際賞

花の万博の「自然と人間との共生」という理念に合致する研究活動や業績を顕彰する 2013 年（第 21 回）コスモス国際賞事業を実施する。このため、2013 年の受賞者の選考、決定及び授賞式の開催、記念講演会等を開催する。

①受賞者の選考：平成 25 年 2 月～7 月

②授賞式の開催：平成 25 年 11 月 7 日（木）

③記念講演会の開催：平成 25 年 11 月

また、コスモス国際賞の意義、受賞者の研究業績や授賞式等の内容を取りまとめた報告書を作成、配付し、情報発信に資するとともに、2014 年（第 22 回）の選考準備も実施する。

さらに、賞創設 20 周年を機に歴代受賞者の最近の業績や賞の効果等を取りまとめ、協会ホームページ等で発信する。

(2) B I E コスモス賞

博覧会国際事務局（B I E）が実施し、当協会が協力している「BIE コスモス賞」について、次回の授賞が予定されている 2015 年ミラノ万博での実施について、B I E との連絡調整を行う。

(3) 全国花のまちづくりコンクール事業

花の万博を契機に、「花と緑の国づくり及びまちづくり」（提唱：農林水産省及び国土交通省）を目的として創設された「花のまちづくりコンクール」推進協議会に参画し、コンクールに関わる各種事業を実施する。

・第 23 回全国花のまちづくりコンクール

平成 25 年 10 月に表彰式を実施予定（東京）

2. 助成・協働事業

(1) 調査研究、行催事等助成事業

花の万博理念の継承発展及び普及啓発に資する「調査研究開発」並びに「活動・行催事」を支援するため、全国公募による助成事業を実施する。

また、事業の効果、成果を広く公開していくため、助成を受けた団体の成果発表会を開催する。

(2) 花と緑の復興活動支援事業

東日本大震災の被災地において、簡易な花壇やプランタ等の整備、栽培指導、屋内を飾る切り花や寄せ植え等の多様な花育活動、花と緑の苗木の植栽など、被災地周辺の仮設住宅等における花と緑を活用した復興支援活動への助成を平成24年度に引き続き行う。

(3) 地域の団体・住民等との協働事業

地方公共団体・企業・ボランティア・住民等と協働し、花と緑のまちづくり事業を実施する。

平成25年度は、平成24年度に引き続いて、大阪をモデル地域として「みどりの風の道」エリアの形成をめざし、公有地・民有地での植樹を行うとともに、御堂筋等において都市の賑わいづくりや環境・景観の改善をめざし、花飾りを行う。

さらに、これらの植樹、花飾り事業の評価、検証を行い、全国各地の花と緑のまちづくり事業の推進に資するため、その成果を公表する。

3. 普及啓発事業・国際交流事業

(1) コスモスセミナーによる次世代育成事業

協会事業に関係する専門家、知識人等を講師として派遣し、自然環境の大切さや科学する視点を育てるセミナー（自然観察教室、小学校への講師派遣）を実施する。

また、毎日新聞大阪本社との共催による学校ビオトープ事業「小・中学校生態園づくり」も実施する。

(2) 花育推進事業

花や緑を児童教育等の中に取り入れることを目的とした「花育活動」の推進のため、小中学校における副読本等を活用したモデル授業の実施に支援を行う。

(3) 生き物共生まちづくり普及啓発事業

生き物と共生するまちづくりのあり方や個人の生活と生物多様性の関係性などを解説した「手引き」を、当協会が実施するイベント等で無料配布する。

(4) 「都市緑化推進運動」・「まちづくり月間」に対する協力

都市公園の整備、民有地の緑化により都市における豊かな生活環境の実現を目的とする「都市緑化推進運動」、及び住民参画のもと創意・工夫を生かしたまちづくり推進を目的に実施される「まちづくり月間」に対し、協力を行う。

(5) 花の万博開催の地元における普及啓発事業

花の万博開催の地元である大阪で開催される「大阪府都市緑化フェア」「はならんまん」などの普及啓発イベントに協力する。

また、緑のまちづくりに貢献する美しい景観となっている建物や緑化活動を表彰する「みどりのまちづくり賞」の実施の主催者の一員として参加する。

さらに、公園の利用・活用方法の紹介等を内容とする情報誌を地方公共団体や企業と協働して作成、配布する。

(6) その他の普及啓発事業

① 飛鳥地方の歴史的風土向上プロジェクト

地域に根ざした花を活用し、飛鳥地方の歴史的風土に調和した景観づくりを行い、地域住民や来訪者に自然と人間との共生について理解を深めるため、古都飛鳥保存財団と共同で飛鳥地域に植栽を実施する。

② 自然と人間との共生フォーラム

コスモス国際賞受賞者や関係知識人によるフォーラムを、高校生や一般を対象に開催する。

③ その他

自然科学、人文・社会科学の各分野を越えた学術の交流と融合を目指す学識経験者・研究者のネットワークづくりの場となる KOSMOS フォーラムを開催する。

また、協会のホームページの維持、更新、協会の概要を周知するための年次報告書等を作成し、事業内容や情報を発信する。

(7) 国際交流事業

当協会がこれまで培ってきた、コスモス国際賞の受賞者や BIE コスモス賞の受賞者、海外の大学等研究機関などとの海外ネットワークを活用した青少年を対象とする研修事業や支援事業の検討を行う。

また、この海外とのネットワークを活用して、海外での「自然と人間との共生」に関する事例を調査・研究するため、その手法・内容等について検討を進める。

さらに、海外で実施されている「国際園芸博覧会」等の情報を調査、収集する。

4. 調査研究・資料収集事業

(1) 生物多様性関連施策の実態と効果等に関する調査

平成 22 年度に名古屋で開催された国際会議「COP10」を機に、日本全国で生物多様性の保全に向けた取り組みが行われている。本調査は、国や地方公共団体が講じた施策や事業の実態を把握し、生物多様性の保全が地域、国土づくりに果たす役割や課題を調査・検討し、協会事業のより実効性のある取り組みにつなげる。

(2) 里山における共生に関する調査

① 生物多様性の宝庫と言われる里山や、そこにつながる都市近郊の緑の再生や整備など、ユニークな活動が各地で行われている。これについて調査・資料収集を行う。

② 東北地方を対象として、大学等研究機関や東北地方の活動団体と連携し、地域特有の花と緑に関わる伝統的文化に関する文献調査、事例調査を行い、復興まちづくりにも役立つ内容として冊子にとりまとめる。

平成25年度収支予算書（損益計算方式）案

平成25年4月1日 から 平成26年3月31日 まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	39,440,000	39,449,000	△9,000	
特定資産運用益				
記念基金受取利息	339,500,000	338,643,000	857,000	
雑収益				
雑収益	450,000	0	450,000	
宿舍使用料収益	0	240,000	△240,000	
経常収益計	379,390,000	378,332,000	1,058,000	
(2) 経常費用				
事業費	288,866,144	294,247,319	△5,381,175	
役員報酬	7,980,000	7,980,000	0	
給与手当	51,246,200	59,360,000	△8,113,800	
法定福利費	7,113,800	0	7,113,800	
退職給付費用	1,500,000	1,560,000	△60,000	
賃金	1,855,000	203,000	1,652,000	
職員厚生費	800,000	925,000	△125,000	
会議費	2,989,000	3,570,000	△581,000	
旅費交通費	11,421,200	19,105,800	△7,684,600	
通信運搬費	2,692,700	4,501,700	△1,809,000	
広告費	945,000	1,575,000	△630,000	
消耗什器備品費	140,000	140,000	0	
委託費	27,769,000	68,342,400	△40,573,400	
消耗品費	2,692,000	6,591,200	△3,899,200	
修繕費	2,100,000	700,000	1,400,000	
印刷製本費	3,784,500	4,879,000	△1,094,500	
光熱水料費	3,360,000	3,360,000	0	
役務費	2,341,500	1,155,000	1,186,500	
賃借料	4,820,000	5,992,000	△1,172,000	
使用料	4,200,000	6,914,600	△2,714,600	
諸謝金	9,110,500	8,715,000	395,500	
負担金・会費	88,637,000	37,757,000	50,880,000	
助成金支出	10,000,000	10,000,000	0	
租税公課	126,000	126,000	0	
手数料	630,000	630,000	0	
賞金支出	40,000,000	40,000,000	0	
雑費	607,600	153,300	454,300	
減価償却費	5,144	11,319	△6,175	
管理費	90,441,205	114,395,851	△23,954,646	
役員報酬	3,420,000	3,420,000	0	

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
給与手当	42,353,800	49,240,000	△6,886,200	
法定福利費	5,886,200	0	5,886,200	
退職給付費用	1,500,000	1,440,000	60,000	
賃金	795,000	87,000	708,000	
職員厚生費	800,000	925,000	△125,000	
会議費	1,281,000	1,530,000	△249,000	
旅費交通費	4,894,800	8,188,200	△3,293,400	
通信運搬費	1,368,300	1,929,300	△561,000	
広告費	405,000	675,000	△270,000	
消耗什器備品費	60,000	60,000	0	
委託費	11,901,000	29,289,600	△17,388,600	
消耗品費	1,368,000	2,824,800	△1,456,800	
修繕費	900,000	300,000	600,000	
印刷製本費	1,543,500	2,091,000	△547,500	
光熱水料費	1,440,000	1,440,000	0	
役務費	1,003,500	495,000	508,500	
賃借料	2,430,000	2,568,000	△138,000	
使用料	1,800,000	2,963,400	△1,163,400	
諸謝金	3,904,500	3,735,000	169,500	
負担金・会費	800,000	800,000	0	
租税公課	54,000	54,000	0	
手数料	270,000	270,000	0	
雑費	260,400	65,700	194,700	
減価償却費	2,205	4,851	△2,646	
経常費用計	379,307,349	408,643,170	△29,335,821	
当期経常増減額	82,651	△30,311,170	30,393,821	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	82,651	△30,311,170	30,393,821	
一般正味財産期首残高	173,093,064	203,404,234	△30,311,170	
一般正味財産期末残高	173,175,715	173,093,064	82,651	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	8,423,587,400	8,423,587,400	0	
指定正味財産期末残高	8,423,587,400	8,423,587,400	0	
III 正味財産期末残高	8,596,763,115	8,596,680,464	82,651	

(注) 借入金限度額 100,000千円

収支予算書内訳表

平成25年4月1日 から 平成26年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益事業目的会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	11,832,000	27,608,000		39,440,000
基本財産受取利息	11,832,000	27,608,000		39,440,000
特定資産運用益	237,650,000	101,850,000		339,500,000
記念基金受取利息	237,650,000	101,850,000		339,500,000
雑収益	0	450,000		450,000
雑収益	0	450,000		450,000
経常収益計	249,482,000	129,908,000	0	379,390,000
(2) 経常費用				
事業費	288,866,144			288,866,144
役員報酬	7,980,000			7,980,000
給与手当	51,246,200			51,246,200
法定福利費	7,113,800			7,113,800
退職給付費用	1,500,000			1,500,000
賃金	1,855,000			1,855,000
職員厚生費	800,000			800,000
会議費	2,989,000			2,989,000
旅費交通費	11,421,200			11,421,200
通信運搬費	2,692,700			2,692,700
広告費	945,000			945,000
消耗什器備品費	140,000			140,000
委託費	27,769,000			27,769,000
消耗品費	2,692,000			2,692,000
修繕費	2,100,000			2,100,000
印刷製本費	3,784,500			3,784,500
光熱水料費	3,360,000			3,360,000
役務費	2,341,500			2,341,500
賃借料	4,820,000			4,820,000
使用料	4,200,000			4,200,000
諸謝金	9,110,500			9,110,500
負担金・会費	88,637,000			88,637,000
助成金支出	10,000,000			10,000,000
租税公課	126,000			126,000
手数料	630,000			630,000
賞金支出	40,000,000			40,000,000
雑費	607,600			607,600
減価償却費	5,144			5,144

(単位：円)

科 目	公益事業目的会計	法人会計	内部取引消去	合計
管理費		90,441,205		90,441,205
役員報酬		3,420,000		3,420,000
給与手当		42,353,800		42,353,800
法定福利費		5,886,200		5,886,200
退職給付費用		1,500,000		1,500,000
賃金		795,000		795,000
職員厚生費		800,000		800,000
会議費		1,281,000		1,281,000
旅費交通費		4,894,800		4,894,800
通信運搬費		1,368,300		1,368,300
広告費		405,000		405,000
消耗什器備品費		60,000		60,000
委託費		11,901,000		11,901,000
消耗品費		1,368,000		1,368,000
修繕費		900,000		900,000
印刷製本費		1,543,500		1,543,500
光熱水料費		1,440,000		1,440,000
役務費		1,003,500		1,003,500
賃借料		2,430,000		2,430,000
使用料		1,800,000		1,800,000
諸謝金		3,904,500		3,904,500
負担金・会費		800,000		800,000
租税公課		54,000		54,000
手数料		270,000		270,000
雑費		260,400		260,400
減価償却費		2,205		2,205
經常費用計	288,866,144	90,441,205	0	379,307,349
当期經常増減額	△39,384,144	39,466,795	0	82,651
2. 經常外増減の部				
(1) 經常外収益				
經常外収益計	0	0	0	0
(2) 經常外費用				
經常外費用計	0	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△39,384,144	39,466,795	0	82,651
一般正味財産期首残高	0	173,093,064	0	173,093,064
一般正味財産期末残高	△39,384,144	212,559,859	0	173,175,715
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	8,423,587,400	0	0	8,423,587,400
指定正味財産期末残高	8,423,587,400	0	0	8,423,587,400
III 正味財産期末残高	8,384,203,256	212,559,859	0	8,596,763,115